

平成 29 年度 鎮西中学高等学校 学校評価

鎮西ミッション	大乘仏教の精神を根幹に、人格の陶冶・心身の健全な発達・個性の伸長を図る教育を実践し、社会に貢献できる有能な人材を育てる
---------	---

ビジョン	○報恩感謝～国・親・地域・御仏に感謝し、四恩塔に一礼しよう～ ○礼節堅持～礼儀を重んじ、正しい言葉遣いを心掛けよう～ ○学力向上～予習して授業に臨み、疑問を残さないようにしよう～	○身体練磨～計画的な練習をし、早寝・早起き・朝ご飯を心掛けよう～ ○環境美化～整理整頓を行い、ゴミを出さないようにしよう～
------	---	--

【総務部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
5 人の総務部全員が1つ1つの分掌課題に対しやっていかなければならないが、一部の職員に仕事が集中している状況をどう改善するかが課題である。	コミュニケーションを図り、総務の仕事量の多さを理解してもらい、皆で支え合えるように仕事を分散する。そのためには誰でもできるように仕事のやり方を変え、その方法を把握してもらう。	B	「育誠会だより」を年2回、「鎮西通信」を年1回、「学校要覧」「四恩」を予定通り発行出来た。入学式、卒業式、始業式、終業式、遠足（生徒会と合同）などの学校行事も適切に行うことが出来た。また、名票、備品の作成、注文も適切だった。寮に関する仕事も適切だった。全国優勝祝賀会を3回適切に行った。

【教務部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
①授業時数の確保(時間割の変更) ②学力向上、学力不振生徒への対策(個別指導、補習、到達度の把握) ③学校と家庭との間の情報伝達の徹底(奨学金業務) ④本校生徒の実態に合った教育課程の作成及び教職員間の共通理解	①時間割の変更を教科担当者同士で行い、スムーズな処理ができた。その結果、自習となる授業を減少させた。 ②生徒各々に対し、適切な時期に補習などの手立てを講じ、学習内容の定着を図った。 ③奨学金の説明会を行う際、小集団となるようグループ分けして実施した。その結果、書類の不備等の事故件数が減少した。 ④平成 30 年度入学生の教育課程の作成にあたり、各教科からの意見や要望を取り入れた。	①B ②B ③B ④B	①急な欠勤に対応できなかったことが課題である。教科・学年とも連携し、充実した学習環境の構築に努める。 ②年度末には補習・追試を実施できたが、学期中でも適切な時期に実施できるようすべきであった。 ③保護者に対しても十分に内容が伝わるような手立てが必要である。生徒本人と保護者が同席するような説明会を実施したい。 ④教育課程の作成に関わる人を対象とした校内の学習会を開きたい。

【生徒指導部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
1. マナーを心得た規範意識の高い生徒を育成する	1. 生徒の道徳心や社会性(規範意識)を育むとともに、自分と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を認め合う。また、教育活動(授業、HR、部活動等)において、指導開始時に服装指導を徹底するとともに心の込もった挨拶、礼のできる生徒を育てる。	B	1. 規範意識については、生徒への意識付けもあり、不十分ではあるが成果はみられる。様々な機会を通じて公共の場におけるマナーや規範意識の向上を目指して指導を継続したい。また、挨拶は先ず職員側から心がけ基本的規律を示す。
2. 授業に集中できる教育環境づくりに努める	2. 授業や課外の開始時に教科担当が身の回りを整理整頓させて、学習に集中するよう指導を徹底する。	B	2. 授業規律の確立については、一定の成果はでているが、クラスによってバラツキがある。学習に集中する態度の育成には、各教科担当者の指導力向上と校内巡視を強化する必要がある。
3. 健康で安全な考え方と行動力の育成	3. 「早寝早起き朝ごはん」を推奨し、「遅刻欠席をしない」生活習慣を身に付けさせるとともに健康で安全な生活づくりへの指導を徹底する。	B	3. 遅刻欠席については、クラスによって差があるが体育コースでは高い成果を上げている。基本的な生活習慣の確立を重点として全校体制で取り組み定着を図りたい。
4. 情報モラル教育の推進(SNS 対策)	4. スマートフォンの利用に際し、インターネットを通じた SNS やアプリ等が持つ危険性について生徒の啓発に努める。	B	4. 情報モラル教育については不十分であった。SNS 等での有害被害やトラブルの対応事例に関する啓発活動を実施するとともに啓発用リーフレットの配布や啓発用映像を活用していきたい。

【進路指導部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
<p>1 職業観の育成・進路目標設定 生徒の社会的自立に向けて、高校生として必要な基盤となる能力や態度を育てる。</p> <p>2 受験対応学力向上への指導・支援のための情報を提供する。</p> <p>3 受験対応学力向上への指導・支援に全職員で臨む。</p>	<p>1 各学年部、教務部と協同して、LHR、総合学習の時間を利用して、進路意識の高揚を図り、進路目標を設定させ学習意欲の向上に繋げた。</p> <p>2 生徒一人ひとりの希望を把握し、学校案内・パンフレット・求人票や会社案内など必要に応じて情報を提供した。また、進路部所属職員による進学相談・就職相談も実施した。</p> <p>3 受験者に対しては、以下の手だてを講じた。 ・校内模試・対外模試・面接指導・マナー教育（外部講師）・日常的な礼法・整容指導（進路室への入退室時）・添削指導（教科学習、小論文、作文、願書等に係る提出書類）</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>1 各学年及び担任との連携を密にすることができた。自らの将来を真剣に考える生徒が増え、学年を問わず空き時間を利用して、進路指導室で学習に励む生徒が増加した。</p> <p>2 全学年・全学級で進路希望調査を実施し、共有したため、生徒の様々な進路に対する情報提供にきめ細かく対応できた。</p> <p>3 進路指導室における、希望者による早朝・放課後・長期休暇中の学習活動は極めて良好であった。また、1・2年生の希望者参加により、その数が増加傾向にある。 必要に応じて、各種模試、添削指導、面接指導、小論文指導など実施することが出来た。願書等の提出書類に対する指導も徹底できた。</p>

【保健体育部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
<p>①心身の安全で健康な体づくりに対する目的意識の向上を図る。</p> <p>②文武両道での自己実現の指導の徹底する。</p> <p>③安全な校内環境づくりに努める。</p>	<p>①健康管理のために基本的な生活習慣を確立させる。</p> <p>②自身の学力向上に真摯に取り組み、集中力を高め競技力向上に結びつける。</p> <p>③全職員、生徒による清掃を徹底的に取り組む。</p>	<p>①B</p> <p>②A</p> <p>③A</p>	<p>①生徒の毎日の健康状態は保健調査カード等を利用して状況把握を実施した。</p> <p>②各競技によって、学力向上の必要性について、理解させることが出来た。</p> <p>③掃除分担を行い、職員、生徒同時に清掃を毎日行うことが出来た。</p>

【生徒募集部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
<p>① 各種学校説明会における募集活動の強化、および中学校や塾等への適切な情報提供と対応</p> <p>② 入試業務精査、検討、改善。</p> <p>③ ウェブページの内容の充実と更新。</p>	<p>① 各種説明会の参加者の心に届くプレゼンテーションの工夫・改善</p> <p>② ウェブページの大幅な改善と更新をスムーズに進める情報共有の研究・実施</p>	<p>① A</p> <p>② B</p> <p>③ B</p>	<p>① 各種媒体を活用し、本校の特徴伝えることができたと判断している。特に各中学校での説明会は動画等を活用し、去年と比べてよりわかりやすい説明となった。</p> <p>② 入試業務は教務部、総務部と連携して、スムーズに運営することができた。さらなる改善の余地があるので次年度に繋ぎたい。</p> <p>③ ウェブページへのアクセス数が増加し、手応えを感じた。更新の頻度を増やすことが今後の課題。学校での教育活動や生徒の活躍を迅速に提供できる仕組みづくりを行う必要性を感じている。</p>

【中学1年部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
<p>①基礎学力の定着</p> <p>②思いやりの心を育てる</p> <p>③スポーツ技術の向上</p>	<p>・部活動に重きを置いている傾向が強いため学力不足が課題</p> <p>・豊かな生活を送るためにも基礎学力をつけることが必要。横の（生徒同士）連携が課題。支え合う集団づくりに力を入れる。</p>	<p>B</p>	<p>①前向きな姿は育ってきたが学力の定着があと1歩である。</p> <p>②部活動単位での支え合う集団にはなりつつあるので、このまま学力向上へとつなげていきたい。</p>

【中学2年部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項

①スポーツ技術の向上 ②基礎学力の習得 ③基本的な生活習慣の育成 ④思いやりの心を育てる	・部活動に力を入れ込みすぎるため家庭学習の時間が不足している。学力保障が不十分。部活動の顧問と連携が必要。 ・生徒同士の思いやりが足りない。心の教育に力を入れる。	B	①朝自習の態度は良好だが家庭学習ができていない。基礎学力の定着が不十分な生徒が少し多い。 ②困っている生徒へ優しい言葉がかけられていない。
---	--	---	--

【中学3年部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
①高校に繋ぐ学力とスポーツ技術の向上 ②学力保障と進路保障	・サマースクールで共通テスト対策をし、ウインタースクールで補修課外を実施し高校受験に備える。毎日の実践ノートや整理と研究で受験対策を行う。 また、高校進学後も学力、スポーツの競技力に対応できるように備えておく。	B	①高校受験に備えて学習に励み各自学力の向上に努力。全員第一志望校に合格したがまだ上を目指していく必要を感じた。 ②高校のスポーツに備えて、技術力は向上した。サッカーとバレーで海外派遣された生徒もでた。

【高校1学年部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
①規則正しい生活習慣の養成 ②基礎学力の向上 ③校内の環境美化	①遅刻が無いよう家庭と情報を共有し、家庭訪問を実施する。 ②授業の取り組み方について、学年集会やホームルームを通して徹底的に説明する。 ③清掃活動では、教師自ら清掃に取り組み生徒の模範になる。	A A B	①夏休みにかけ、家庭とこまめに連絡を取り家庭訪問を実施することができた。 ②基本的な学習態度が年度当初に比べ、年度を通して向上した。 ③各教室には清掃活動時、常時担任が付き生徒と共に清掃活動を実施した。

【高校2学年部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
学年目標：中だるみ防止のため、基本的な生活習慣の習得と進路目標の早期具現化 ①報恩感謝 ②礼節堅持 ③学力向上 ④身体練磨 ⑤環境美化	①毎朝のSHRでの心を込めた合掌により、四恩について各担任が指導する。 ②社会人としての礼節を身に付けさせるために、服装頭髪検査を通した端正な身だしなみや進路指導によるしっかりとした礼儀や作法を教育する。 ③早期に進路目標を具現化させることにより、学習意欲の向上を図る。 ④部活動等を通じて心身共に健全な人物を育てる。 ⑤常日頃の清掃等を通した美化活動等により、清潔で整理整頓された教育環境を整備する。	①A ②A ③B ④B ⑤A	①毎朝のSHRでの心を込めた合掌の前に服装を整え、仏様を見つめて落ち着いた態度で、合掌することができた。 ②定期考査最終日での定期的な服装頭髪検査により指導し、一部の生徒に違反行為があったが、指導により是正することができた。 ③担任との定期的な二者面談や学年集会での進路指導を通じて進路意識の高揚を図ったが、個人差が見られた。 ④部活動をしている生徒としていない生徒の間に若干の差が生じた。 ⑤毎日の清掃等を通じて、教室・トイレ等を清潔に保ち、教育環境を整備することができた。

【高校3学年部】

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
①進路実現のための指導・援助の充実 ②遅刻・欠席をなくし、時数不足を出さない ③保護者との連携	①家庭訪問、二者面談、三者面談を行い、本人や保護者との意思疎通を図ったり、学年集会においていろいろ話をして、進路に向けての意識、意欲を高める指導を徹底して行う。また、担任が中心となって、個別に面接指導を行う。 ②遅刻、欠席をしないよう、常にHRを通じて指導する。もしした場合は、保護者に連絡したり、放課後残してクラス毎に担任が指導する。 ③出席状況や進路指導において、常に連絡を取る。	① B ② A ③ A	①クラス毎に、家庭訪問、二者面談、三者面談を実施して、生徒や保護者の希望を担任が把握し、ほとんどの生徒が進路実現することができた。また、進路指導部と連携して面接ガイドを作成し、学年で面接指導を実施したり、担任が個別に面接指導をすることができた。 ②各担任が放課後遅刻指導をしたり、欠席したら必ず保護者に連絡して、時数不足者が1人も出なかった。 ③常に担任が保護者と連絡を取り合っており、全員卒業判定を受け、ほとんどの生徒が進路実現をすることができた。